

平成28年度 府立加悦谷高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>1 生徒一人一人の可能性を伸ばし、希望進路の実現を図るとともに、社会に貢献できる人材の育成</p> <p>2 「地域の学校」として、信託と期待に応える学校づくり</p> <p>3 生徒、自らがつくる「安心・安全」な学校づくり</p>	<p>【成果】</p> <p>1 一人一人の可能性を最大限に伸ばし、きめ細かい指導で就職・進学とも100%決定を達成した。</p> <p>2 平日オール6限授業と隔週土曜授業を行うことでメリハリのある教育を展開できた。</p> <p>3 ウェイトリフティング部が全国高校総体、国体に出場し、女子が種目別で優勝するなどの活躍をした。また、書道部が全国高校総合文化祭に京都府代表として3年連続の出場を果たした。</p> <p>4 京都フロンティア校の取組【地域へく活力・創生・貢献&gt;1000人プロジェクト】を行うことで、地域を活性化し、地域を支える意識の高揚と地域社会とのつながりの大切さを学んだ。</p> <p>5 学校評価で「本校に入学して良かった」と答えた生徒が80%、「本校に子供を入学させて良かった」と答えた保護者が89%と本校教育へ高い満足度を得ている。</p> <p>6 「出前授業」「プラスワンスタディ」「福祉施設ボランティア」などの活動を通して、地域貢献を行った。</p> <p>【課題】</p> <p>1 学力向上と一人一人の希望進路実現</p> <p>2 アクティブラーニングなどによる新しい授業形態への対応</p> <p>3 部活動の更なる活性化</p> <p>4 第一志望第一順位での募集定員確保</p> <p>5 ボランティア活動の更なる推進</p> <p>6 京都フロンティア校の取組の更なる推進</p>	<p>1 <b>学力向上</b> 一人一人にきめ細かな指導を展開し、確かな学力を身につけさせ、希望進路を実現させる。</p> <p>2 <b>学校行事・部活動の充実</b> 土曜授業を行うことでメリハリのある教育を展開し、平日の放課後を有効に活用することで、生徒会活動や部活動など自主活動の一層の充実を図る。</p> <p>3 <b>ボランティア・地域貢献</b> ボランティア活動を積極的にを行うと共に、「出前授業」「きもの着付け教室」など地域やPTAと連携した取組を充実させ、地域に貢献し信頼される学校を目指す。</p> <p>4 <b>広報の充実・入学希望者の増加</b> あらゆる機会を活用して加悦谷高校の魅力を発信し、入学希望者を増加させる。</p>

評価領域	項目（重点目標）	具体的方策	評価			成果と課題
組織・運営	学校の特色化	地域創生推進校として、地域の活力に貢献する事業を展開する。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初予定していた事業をすべて実施することは出来なかったが、地域との連携を密接にした取組を進めることが出来た。</li> <li>・土曜授業の効率的な運用が出来なかった点が課題として残る。</li> <li>・様々な媒体を使った広報を展開しようとしたが、必ずしも十分に出来なかった。</li> <li>・授業アンケートを実施し、授業の改善に役立てることが出来た。教員の資質向上のための研修の機会をより多く設定したい。</li> <li>・教職員間での横の繋がりを密にしていけることを意識しながら、分掌間の連携を図った。</li> </ul>
		土曜授業を取り入れたメリハリのある教育課程を定着させ、学力や部活動の面で活性化を図る。	B			
		ニュースレター・公式ホームページ・学校説明会などを通じて本校の魅力を発信し、入学希望者を増加させる。	B			
	指導体制の強化	授業アンケートを含め授業の在り方を研究し、教員の資質能力を向上させる。	C	B		
本校及び生徒の状況について、教職員間で共通理解に努め、協働意識を一層強化する。		B				
学習指導 ・ 進路指導	学力向上	土曜授業を取り入れたメリハリのある教育活動を展開するとともに授業の在り方を研究して、学力の向上を図る。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の学習指導要領に関する研修機会を設け、アクティブ・ラーニングなどについての研修を実施した。次年度も継続的に行う必要がある。</li> <li>・家庭学習の習慣化のための学校全体としての組織的な指導が不十分であった。</li> <li>・細かな指導を行った結果、就職希望者については、最終的に100%内定を達成することが出来た。</li> </ul>
		週末課題・校内コンテスト等により、学習に対するモチベーションを向上させ、主体的に学習する習慣を身につけさせる。	B			
	希望進路の実現	補講・模擬面接・個別指導等きめ細かい指導を行い、就職希望者の100%内定と大学合格率向上を達成する。	B	B		
生徒指導	規範意識の向上	あらゆる機会を通じて、あいさつや身だしなみをはじめマナーの重要性を理解させ、問題行動の未然防止に努める。	C	C	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的には落ち着いているが、一部の生徒の規範意識の低さが目立ち、昨年度より指導件数は若干増加した。</li> <li>・生徒会は、学校祭を初めとして、活発に活動することが出来た。また、ボランティア活動でものべ300名を超える生徒が活動に参加し、ボランティア活動の底辺を広げることが出来た。</li> <li>・部活動加入率は目標の75%を超えることが出来た。</li> </ul>
	自主活動の活性化	主権者教育を含め、社会の構成員としての意識を高めるとともに自主性を身につけさせ、生徒会活動やボランティア活動を充実させる。	A	A		
		部活動加入率を高めるとともに、上位の大会に出場する選手を育て、活気のある学校にする。	A			
健康・安全	教育環境の整備	日々の清掃活動や定期的な安全点検を通じて、安全で落ち着いた学習できる環境を整備する。	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震補強工事は予定どおり終了し、安全な学習環境の充実が進んだ。</li> <li>・教育相談会議を定例化することで、各学年の気になる生徒の状況把握と共有化をすすめることができた。</li> </ul>
	教育相談	教員間・分掌間の連携を密にし、また、関係機関や保護者との連携も図りながら、広い意味で支援を要する生徒に対し迅速できめの細かい手立てを行う。	B	B		

<p>学校関係者 評価委員会 による評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 広報を通して、学校の様子が一定町民に知らされて、見えやすくなっている。このような取組によって地域からの信頼や支援につながっていくものと思うので、小中学校のPTA総会などに出かけて広報をするなどの更なる工夫をしてPRをしてほしい。</li> <li>• 生徒の学力が伸びているかどうか、外部の者からはわかりにくいので何か客観的な指標をグラフ等を使って示してほしい。</li> <li>• 1年次からの進路意識の向上を図るために早い時期からの取組は必要ではないか。OBなどをうまく利用して、進路指導の充実を図って欲しい。</li> <li>• ボランティア活動や部活動に積極的に取り組んでいる様子がHPや広報誌などから伝わってくる。</li> </ul>
<p>次年度に 向けた改善の 方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「一人一人の可能性を伸ばす」本校の教育を更に推進し、一人一人にきめ細かな指導を展開する。</li> <li>• 京都フロンティア校の「地域創生」の取組を計画的かつ組織的に進め、地域に貢献する高校として積極的に活動を展開する。</li> <li>• アクティブラーニングなどの新しい授業スタイルについての研修を積極的に行い、授業改善に努め、すべての生徒の学力向上につなげる。</li> <li>• 生徒の規範意識の高揚を図るために、様々な機会を通じて、社会人としてのマナーやルールを理解させる取組を組織的に推進する。</li> <li>• メリハリのある教育活動を展開し、学習と部活動を活性化し、部活動加入率をさらに向上させていく。</li> <li>• 本校の魅力を全教職員で広報活動を展開し、第1志望第1順位が定員を超えることを目標とする。</li> </ul>